



入園説明会

昨年までは体験入園ということで、ひくま幼稚園についてご説明するとともに、親子で楽しんで遊ぶ時間にも重点を置いておりました。ですが、もう少しひくま幼稚園のことを知りたいというご要望もかねてよりいただいておりますので、今年から思い切って入園説明会とさせていただきます、ひくま幼稚園についてご理解いただく会といたしました。そのため上のお子さんをもう既にひくま幼稚園でお預かりした保護者の方にはあまりご案内をせず、もっぱらひくま幼稚園のことをまだよくご存じない方を対象とすることにいたしました。内容としましては、まずは幼児教育、とりわけ幼稚園教育の大切さから始めて、ひくま幼稚園の教育理念や目標をお話し、続いて提供できる教育内容について説明いたしました。そこで前の日から考え、注意したことは、とにかくかたい話になり過ぎないように、ということです。幼稚園の保護者の方にお話するような場合には、適度に冗談も入れて、あまり堅苦しくない雰囲気を作るように努力いたしておりますが、初めて会った保護者の方たちにもあまりふざけたことを言ってもいけないですね。でも私が話すどうしてもかたい話になってしまうので、大学の講義風にならないように、努めて話をしました。

幸いなことに、最前列の真ん中に座ってくださっていた方お二人が、しきりうなづいて聞いてくださったので、そのお二人を頼りに話をさせていただきました。クラスごとの参観懇談会で保護者の皆さんに自己紹介をお願いするときに、他のお母さんが話をしているときには、思いつきうなづいて聞いてください、とお願いしていますが、ほんとうに自信のないときには、うなづいて聞いてくださる方の存在がありがたいです。ありがとうございました。

(^_^)

熊本の地震被害への義援金

熊本市私立幼稚園協会会長の米澤静江先生より、熊本地震への支援について、お礼の言葉をいただきましたので、皆様にもお伝えいたします。

「皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。このたびの「平成28年熊本地震」に際しましては、各方面の皆様からの暖かいご支援を頂戴いたしまして誠にありがとうございました。前震、本震と震度7を2度も記録するという前例のない震災は、熊本県内に甚大な被害を与えることになり、人々の生活に大きな影響を与え、平和であった日常が一変する事態に見舞われることになりました。あの日から2ヶ月が過ぎましたが、まだ、また、元の生活に戻れずにいる人たちも多くいらっしゃいます。こうした状況ではありますが、熊本市私立幼稚園協会としまして、出来得る限り最大限の支援活動を行っております。ひとまずのご報告として、ここで現在の熊本の状況をお伝えさせていただきます」

このあと、各幼稚園ごと、全42か園それぞれの被害状況等のご説明が続く資料をいただきました。復旧のために忙しい中、こういった資料をまとめ、お礼とともにいただけたことは大変ありがたいことです。またこの現状を私たちもよく知り、今後の防災活動に活かしていなくてはと思っておりました。

ご寄付いただいた皆様。ほんとうにありがとうございました。

沖縄県では明けたようですが、このあたりはまだまだ梅雨が続いております。じめじめとしたお天気で、子どもたちもどこか欲求不満気味な感じ。その分ちょっと怪我が多かたりするようで、心配すると同時に、しっかりと気を配るようにしていきたいと思っております。その分晴れた日はしっかりと外に出て、元気よく遊ぶようにしたいと思っておりますが、熱中症も心配ですので、子どもたちの様子をよく見て、特に疲労に気を付けていきたいと思っております。もうすぐ夏休みですね。残り少ない一学期を、子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思っております。

参観懇談会

一クラスずつの参観懇談会が、皆様のご協力のおかげで、今年も無事終了いたしました。どうもありがとうございました。特に役員の皆様には、司会だけでなく、母の会の活動報告やご協力をお願いをしていただき、本当にありがとうございました。ご参加いただいた皆様にも自己紹介にご協力いただきまして、ありがとうございました。またお母様同士もこれからぜひお友だち作りをしていただき、お母さんたちにとっても楽しい幼稚園となればありがたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

教育実習

幼稚園は後輩の育成のために、教育実習生を受け入れます。実習には基本的に観察実習と本実習の二種類があり、短大などでは一年生が観察実習で1週間、二年生が本実習で2～3週間、教育実習をいたします。今年も四大生1名に、短大生2名の本実習を6月に受け入れました。どの子も一所懸命であったとは思いますが、後半、疲れからか笑顔が次第に少なくなってきてしまう子もいたりしまして、少々心配いたしました。頑張りすぎただけならいいのですが、あまり必要以上に、「幼稚園の先生って大変なんだ」と思われるのもつらいですもんね。待機児童に特に注目が集まり、浜松市もどんどん保育所を新設して、その解消に努めようとしています。そんな中で今の学生は、望めば必ずどこかの幼稚園や保育園に就職することが可能でしょう。ですから余計に、学生の皆さんには、それだけの覚悟を持って実習に臨んでほしいと思っております。今年も実習の心構えについて、浜松学院短大で講義をさせていただきました。一所懸命に聞いてくれた多くの学生さんたちが、今、実習を終えて、自分の進路をどうしようと考えているのか。とても気になります。

絵本の読み聞かせ

先日、久しぶりに曳馬小学校へ絵本の読み聞かせに行っていました。去年の二学期に行ったきりではしばらくご無沙汰でしたが、久しぶりだったせいかお客さんは多く、昼休みの読み聞かせでしたが、40人くらいは来てくれたようでした。お客が少ないとどうも調子が出ない私ですので、たいへんありがたい、その分って絵本を読むことができました。

ただちょっと気になったのは寝ころんで見ようとしていた子がいたことで、くつろいだ雰囲気で見ようとしてくれたならまあそのあたりにあまりこだわる必要はないのかもしれませんが、それでも一応、座って見てねと声かけしました。でもどうしても座ってはくれず、まあじゃあしょうがないか、と思い、そのまま読み始めました。ひょっとしたら多動傾向のあるお子さんかもしれないし、無理強いするのはやめようと思った訳です。でも保護者の役員の方は一生懸命声かけして、座らせようとしてくれていたので、かえって申し訳なかったかなとも感じました。

さて、今日はひくま幼稚園も保護者の方の読み聞かせの会“よむよむ”がありまして、今日は年長児対象に絵本の読み聞かせ会が開催されました。どの子もお行儀よく座って見てくれていたので、まずは一安心。私に対してはまあどうでもいいですが、子どもたちには読み手に対する敬意みたいなものも身に付けてほしいと思っておりました。